



カナダと日本を結ぶコミュニケーションプレス

# メイプル

## 東北

Vol.9



寄り添う姿も絵になるピーター・ボーデンさんと美由紀さんご夫妻。

## 日加さわやかカップル誕生



ピーター・ボーデン(PETER BEAUDIN)さんは、モントリオールのご出身で、奥様の美由紀さんとのご結婚を期に仙台(日本)に来られました。現在は、英会話やフランス語の先生をする傍、FM局のDJをしています。また、趣味は絵画、サイクリング、映画観賞などで特に絵画は、個展をひらくほどの芸術家ぶり。これからやってみたいことは、ドラムとちぎり絵だとか。

「仙台は、緑が多く、街もきれい。海や山にも恵まれています。独特のイベント(七夕等)も楽しくとてもいい所だと思います。」と話してくれました。

お二人は、それぞれの仕事のためにすれ違いの生活になりがちということでしたが、息のピッタリと合う、さわやかなカップルでした。



# NEWS

## 明間副会長が カナダ名誉通商代表に

2月6日、当協会の明間副会長がカナダ政府よりカナダ名誉通商代表に任命されました。仙台市内でとりおこなわれた叙任式には、キャンベル駐日カナダ大使をはじめ、ロモフ公使・黒田副会長らが出席され、明間副会長と大使がそれぞれ任命書にサインをしました。

カナダ政府は日本との経済交流の拡大をはかるため、平成3年5月に仙台、札幌、広島には名誉通商代表を、また名古屋、福岡には領事館を置き、諸活動を展開してきました。仙台においては、当協会の故玉川会長が初代の名誉通商代表として、東北地域におけるカナダとの通商関係の窓口となり、カナダと東北の友好・経済関係の強化に取り組んできました。

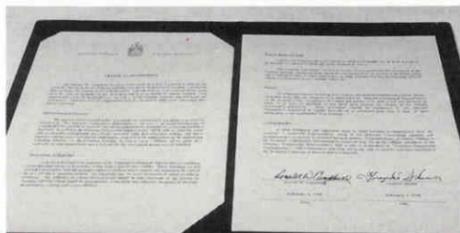
今後、明間副会長は、東北各県の行政・商工会議所などの団体等と連携しながら東北の産業・経済界とカナダ企業との交易機会の開拓や経済・商業情報の提供などの通商協力業務を行っていくこととしています。



◀協会、カナダ政府関係者が一同に会しました。



◀明間副会長とキャンベル駐日カナダ大使がしっかりと握手。



▲サインされた任命書。

## クリスマスパーティ

12月15日、仙台市内のホテルにおいてクリスマスパーティが開催されました。パーティでは、当協会の赤塚事務局長の挨拶のあと、昨年に引き続き、カナダ大使館からご出席されたウェイン・ロブソン書記官に日本語でのスピーチをいただきました。

エレクトーンによるミニコンサートでは、クリスマスソングをはじめ、歌謡曲などを演奏。参加者は、歌詞カードを見ながら口ずさんだり、メロディに合わせてリズムをとったりと和やかな雰囲気となりました。また、恒例のプレゼント抽選会では、お子さんたちの参加もあり、パーティは一層盛り上がり、賑やかで楽しいものとなりました。



▲赤塚事務局長の挨拶から、今年も楽しいパーティはじまりました。



▲すっかりおなじみになったウェイン・ロブソンさんを囲んで。



▲ちびっこたちも楽しそうです。

## 東和町きこの祭り

カナダ・バーノン市と姉妹都市関係にある宮城県東和町において、「森のきのこの祭り」が開催されました。東和町のきのこの森では、9月30日から10月9日にかけて、さまざまなイベントが開催されていましたが、その最終日の10月9日、会員約30名が東和町を訪問しました。

参加した会員は、まず「体験きのこ狩り」に挑戦。それぞれに手渡された紙箱にいっぱい(1kgまで)にマイタケを採ることができるということで、参加者は指導員の指示のもと、旬のおいしいそうなマイタケを楽しそうに採っていました。

このあと、地元の方々と一緒にイベントに参加したり、お昼には、きのこめしと郷土料理のきのこはっと(きのこ汁)のきのこ三昧のランチを堪能していました。

また、東和町物産館「林林館」を訪ねて、展示・販売をしている地元の特産品やカナダの特産品を見ることができました。

参加者は、各自で採ったマイタケやクリタケ樽木をおみやげに、秋の行楽の一日を満喫できたようでした。



▲こんなにたくさんのマイタケが採れました。



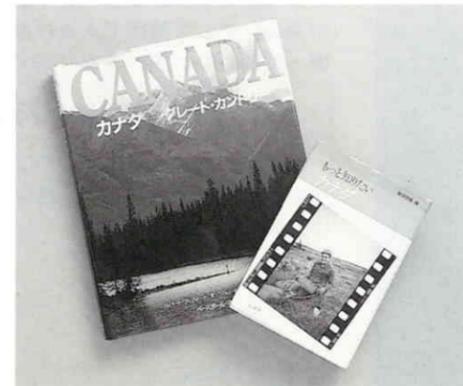
◀屋根の上のカリオンがシンボル、「林林館」の前で。

## カナダ関係の書籍紹介

このカナダ関係書籍のご紹介も今回で3回目となりました。今回は、『もっと知りたいカナダ』と『カナダグレート・カントリー』をご紹介します。

まず、『もっと知りたいカナダ』(弘文堂)は、綾部恒雄氏によって編集されたもので、8章で構成されています。各章の執筆者は前回までご紹介してきた書籍の著者の関口礼子氏、浅井晃氏、吉田健正氏をはじめ、カナダ・ケベック大学のヴェジナ教授などカナダ研究の第一線で活躍されている方々です。歴史的背景からはじまり、風土・地理や民族・言語、政治経済、宗教と世界観などについて、さまざまな文献を参考に、的確で分かりやすく書きあらわしてあります。カナダの歴史、社会、文化についてより理解を深めることができる一冊です。

二冊目の『カナダグレート・カントリー』は、写真と文章でカナダを紹介したもので、ベースボール・マガジン社から発行されています。写真は、カナダで35年以上にわたってプロの写真家として活躍しているジョン・ドゥ・フィッサー氏。文章は、カナダでもっとも有名な作家であり文化評論家であるロバート・フルフォード氏によって書かれています。カナダを東から西へ横断する旅行者の道筋をたどりながら、各州や地域を探っていきます。カナダの歴史的背景やエピソードなどがふんだんに描かれており、目で楽しみながらカナダが理解できます。



▲この2冊を読むと、ますますカナダが魅力的になってきます。

## R.ジョリコール神父さん からの手紙

前号のVol.8でご紹介したジョリコール神父がカナダに帰国後、協会へおたよりをくれました。

1994年11月15日

みなさま

お元気ですか。日本の紅葉はもう終わったでしょうか。モントリオールでは、気温が零度まで下がる朝夕もありますが、割合良いお天気が続いています。

モントリオールに帰ってから、はや2ヶ月、元気で毎日過ごしています。先日病院へ定期健康診断にいきましたら「大丈夫、もう、日本へ帰ってもいいくらいですよ!」とお医者に言われました。

これから、一年セント・ポール茨木ミッションで神父を務め、その後、健康が許せば、また日本へ帰りたくと思っています。

最後になりましたが、お心のこもった花束、ありがとうございます。

みなさまに神の祝福が与えられんことをお祈りいたします。お元気で  
さようなら

Robert Jolicoeur

ロラン・ジョリコール神父



## カナダ自然紀行

# 赤毛のアンの故郷 プリンス・エドワード島

プリンス・エドワード島



プリンス・エドワード島は、カナダ東部のセントローレンス湾に浮かぶ緑の小島。牧歌的な風景が広がる美しい州です。小説『赤毛のアン』の舞台としても有名で、名所も数多く点在。絵のように美しい緑の丘と小道、澄んだ空。まさに、ここはアンの世界です。



## 会員紹介

### 法人会員

1. 氏名  
宮城県女川町
2. 連絡先  
〒986-22 宮城県牡鹿郡女川町女川浜字女川136  
☎0225-54-3131
3. 職業  
地方公共団体
4. カナダとの関わりについて

昭和63年4月18日、須田町長あてに1通の手紙が届きました。差出人は、カナダ海軍T.C.ミルン大佐。手紙には、こう記されていました。[昭和20年8月、女川湾で戦没したカナダ海軍R.H.グレー大尉の記念碑を女川の地に建立したいと考えています。(中略)戦争という運命は、時を経て永続的な交流を作り出す役割を果たしてくれました。]

カナダと女川町。永遠の平和の証「グレー大尉記念碑」は、平成元年8月、関係者の見守り中、除幕されました。



▲女川湾を見下ろす崎山公園内に建立された「記念碑」。現在もカナダと女川町は、とてもフレンドリーな関係を続けています。

### 個人会員

1. 氏名  
大原 一治(迪子、藍)
2. 連絡先  
〒981-32 仙台市泉区南中山三丁目19-21  
TEL376-2369
3. 職業  
三井物産㈱勤務
4. カナダ協会へ一言

私共は三年間カナダの東部ノバスコシア州で生活してまいりました。異文化で生活する不安な気持ちをカナダ人特有のおおらかな心と、溢れんばかりの笑顔で消し飛ばしてくれました。カナダ人は本当に素敵な人々です。

カナダで生活して強く心に思った事は、英語力よりも、心と心の結びつきの大切さでした。日本人も今や国際人として世界に飛び立っておりますが、人の気持を大切に出来る、そして笑顔で人々に接する事が出来る人間性を養ってほしいと願っております。

### 協会からのお知らせ

機関誌「メイプル東北」では、みなさんからののおたよりをお待ちしております。掲載させていただいた場合には粗品を差し上げます。

1995年3月発行

発行人/東北日本カナダ協会 The Tohoku Canada-Japan Society

〒980 仙台市青葉区一番町三丁目7-1

東北電力㈱ 地域開発協働部内 TEL. 022-225-3052(直)

FAX. 022-227-8390

